## 全酪連会報(1)

2022 JAN No.676

#### 新年の御挨拶

代表理事会長 隈部 洋農林水産省 畜産局長 森 健

#### 若手後継者の本音/鈴木敏文さん

監査室だより/内部管理体制(内部統制)の強化について

酪農業に対する理解醸成活動報告2

#### 日本酪農見て歩紀/愛知牧場(愛知県日進市)

**酪農トピックス**/ 「第42回 牛乳・乳製品利用料理コンクール 福島県大会」 開催 (仙台) ほか **酪政連活動報告** 





www.zenrakuren.or.jp/business/kobai/calftop/

# 新年のご挨拶

全国酪農業協同組合連合会 代表理事会長

隈部 洋



礼申し上げます。
日頃より、弊会事業に特段のご支援ご協力を賜り厚く御ましては、良き新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。全国の酪農生産者・会員の皆様及び関係者の皆様におかれ新年明けましておめでとうございます。

令和4年の年頭に当たりまして、一言ご挨拶申し上げます。ざいます。改めてよろしくお願いいたしたく存じます。昨年7月の通常総会において会長に選任された隈部でご

国内で一旦は小康状態となったコロナ禍ではありますが、これまでに酪農・乳業界に甚大な影響をもたらしています。感需要の消失はなお継続中であり、長期化した牛乳・乳製品在 の消費拡大に向けた活動などの対策により、状況の打開に な広域需給調整、各地の乳製品工場のフル操業、あるいは国 な広域需給する。乳製品工場のフル操業、あるいは国 な広域需給する。乳製品工場のフル操業、あるいは国 な広域需給する。 の消費拡大に向けた活動などの対策により、状況の打開に な広域によりますが、こ

善の一助になればと考えております。 ② 1、2021」と銘打ち、全酪連グループ全体で牛乳・ 全酪連といたしましても、昨年11月18日から「I♥MILK

ます。

輸入粗飼料のコンテナ不足など、多くの課題を抱えており我が国の酪農は、酪農家戸数の減少や、飼料原料価格の高騰、てうした乳製品需給の緩和という喫緊の問題以外にも、

て掲げています。

て掲げています。

全略連は昨年新たに策定した将来ビジョンの中で、消費者の全略連は昨年新たに策定した将来ビジョンの中で、消費者の

この実現に向け、引き続き全国の酪農生産者・会員の皆にいく所存であります。

あると考えております。な、夢のあるメッセージを発信していくことも私の勤めでな、夢のあるメッセージを発信していくことも私の勤めでとりわけ若い後継者、担い手の方々に元気を与えるよう

拶とさせていただきます。様のご健勝とご発展をご祈念申し上げまして、新年のご挨様のご健勝とご発展をご祈念申し上げまして、新年のご挨

# 令和4年 年頭所感

農林水産省 畜産局長

森健

明けましておめでとうござい

上げます。 合和4年という新しい年を迎え

上げます。
御協力をいただき、厚く御礼申しら酪農乳業行政の推進に御理解と皆様におかれましては、平素か

緊急事態宣言が発令され、イベン・サウイルス感染症の影響により、・東

ト開催の制限やリモートワーク、 とが進みました。一方、ワクチン接種が広く実施され、その効果も あり、感染者が減少傾向となりま したが、新たな変異株による感染 が世界で広がっており、我が国に おいても引き続き、予断を許さな い状況であります。

LL 牛乳等のフードバンクや子

消費拡大に向け、

新商品の開発、

だいているほか、牛乳乳製品の限の乳製品処理に取り組んでいた製品工場でのフル操業による最大クローリーでの繰越及び全国の乳

務用乳製品が大幅な需要減となったことを受け、脱脂粉乳・バター等乳製品の在庫が高水準となりました。このため、国として、脱脂粉乳等を飼料用や輸入調製品とのする取組を支援いたしました。しかしながら、生乳生産が堅調である一方、牛乳乳製品の需要は業務用を中心にコロナ以前の状況まで回復しておりません。また、飲用期を中心にコロナ以前の状況まで国復しておりません。また、飲用期が続いております。

滑な広域需給調整、乳業者と連携

したクーラーステーションやタン

出荷を抑制する取組みのほか、

円

産者団体等では、一時的に生産や

の発生も懸念されたことから、

上に需給が緩和し、処理不可能乳

年末・年始においては、

例年以

とも食堂への提供及び著名人を活用したプロモーション活動等にも取り組んでいただいております。 農林水産省においても、昨年12月から吉本芸人と当省若手職員がコラボした PR 動画を流すなど、牛乳乳製品の消費拡大の取組を推生しております。

品在庫への対応については、 整の結果として積み上がった乳製 ①国家貿易における輸入枠数量を 今後ともその実現に向け、 を行うこととしています。 しております。これまでの需要調 に置き換える取組に対する支援を することに加え、 最低数量にとどめ、 「の生処による取組については、 生産者団体・乳業メーカーが参 ターの在庫に対 高水準となっている脱脂粉乳 ていくこととしております。 協調して削減に向けた取組 ②輸入品を国産 Ų 輸入量を抑制 国として 国も参 この全 全国

次に、我が国における生乳生産

措置し、 や加工 策事業 や後継 推移してまいりましたが、 対策に加え、 基盤を毀損することのないよう、 係者の努力により築かれた生産 も増加に転じました。 0) 量 強化を推進してまいります。 産チーズの競争力強化対策等を 対策事業(ALIC 事業) 加 省としては、 令和2年度には、 元年度に4年ぶりに増加に転じ 減少等に伴っ 工原料乳生産者補給金 に ついては、 者 原料乳生産者経営安定対 (ナラシ)などの経営安定 酪農の生産基盤の維持 不足による酪農家 酪農経営支援総合 こうした長年の て、 生産者 都府県において 減少 農林水産 0) (ゲタ) 傾向 高齢 や国 令 戸 関 数 和 化 で

乳乳製品の需要の拡大を図る上で極的に開拓することは、国産の牛に成長が見込まれる中、中長期的と、我が国の人口が減少傾向で推と、我が国の人口が減少傾向で推

極めて重要な取組です。

られました。 関する法律」 11月には、 た体制を整備するとともに、 体となって更なる輸出促進に向け 林水産物及び食品の輸出 輸出拡大実行戦略」 このため、 農林水産物· が施行され、 令和2年4月に が取りまとめ の促進に 食品の 政 同年 府 「農

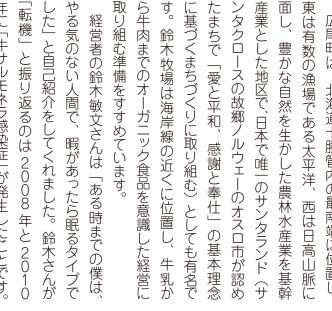
立し、 携した 乳業メーカー ション等の取組に加え、 0) な牛乳乳製品 令 和 てまいります。 図 た輸出促進を行う体制 大を後押しするため、 更新しました。 には222億円と過去最高 輸出額を伸ばしており、 720億円の達成に向け着実に り オールジャパンでのプロモー 牛乳乳製品の輸出については、 12 生産 輸出 「コンソーシアム」 年 0 拡大の から輸出まで 輸 の輸出の 出 輸出事業者が連 このように 額 取組を支援し 目標 これまで 0) 更なる拡 令和2年 生産者· 構築を である を設 貫し 好調 額を

> 今後、 願 と御支援をいただきますよう 0) 年 7 これら政策課題 生産構造を実現していくことが 力不足への対応など、 め、 月 0) 大に取り組むほ しました。 わ い申し上げます。 推進に対して、 も引き続き、 いくこととしており、 層重要になります。 過度な依存 れ 農林水産省においては、 1日に大規模 生産基盤 国内外の 20年ぶりに 酪農・乳業につい からの 0) か、 に的 酪農・乳業行 な 強 需要に応えるた 畜産 化や輸出 組 層 脱却、 確に対応 輸入飼料 畜産局は、 持続 0) 局 改 令和 が復活 昨年7 御 編 ては、 労働 的な が行 理 0) お 解 政 4 拡

もまして、 0) を ただきます。 て 年となることを祈念いたしま 願うととも 感染症が早期 最 後に、 新年の 皆様 新 型型 御挨拶とさせて に、 に コ 今年 とって特 終息すること 口 ナウ が 7例年に 1 別な ル ス

広尾町は、北海道十勝管内の最南端に位置し 鈴木牧場は海岸線の近くに位置し、牛乳か 豊かな自然を生かした農林水産業を基幹

に大打撃を受けました。鈴木さんは、農業関係 数十頭の乳牛を淘汰し生乳の廃棄も経験し経営 年に「牛サルモネラ感染症」が発生したことです。 「転機」と振り返るのは 2008 年と 2010 した」と自己紹介をしてくれました。鈴木さんが



#### ▲ 鈴木敏文さん

# 今回は、北海道広尾町 鈴木牧場の後継者 鈴木 敏文さんにお話を伺いました。

26年度全国農業者会議畜産経営部門では農林水 り危機を乗り切って経営改善し、参加した平成 経営改善に取り組みました。これらの取組によ 向上③カウコンフォートの改善を3本柱とし、 者の協力を得て①乾乳牛の管理②自給粗飼料の 産大臣賞を獲得するまでとなりました。

# 自然体で乳牛を飼いたい

の方針を変更していきました。 づくりの基本に立ち返らなければと考え、経営 なかった」そうです。「自然な状態で乳牛を飼 いたい」そのためには土づくり・草づくり・牛 しており「とにかく疲れていると思えてしかた しかし、 牛たちは、毛ヅヤも悪く、目も、どんより、 鈴木さんには気がかりな点が残りま

ろの牧草は美味しくなかったんだろうなと思い なることもなかった。化学肥料を入れていたこ ちの様子が自然体に思えた。化学肥料をゼロに 化学肥料をゼロにできました。「その頃の牛た ました」と鈴木さんは語ってくれました。 を年毎に1/3ずつ減らし、2016 年には しても乳量は減らなかったし、繁殖成績が悪く ましたが、良質な堆肥を生産し、化学肥料の量 これまで採草地には化学肥料のみを入れてい

# 本物を必要な人に届ける

こういった経験を経て鈴木牧場ではオーガニッ

「こんな素晴らしいものを必要としてくれている人

「牛乳が苦手でも、ここの牛乳は大丈夫」との声に か」と驚いたそうです。飲んだ人からの感想でも 自分で牧場の牛乳を飲んで「こんなに美味しいの

けたい」と鈴木さん。今ではもっと強い思いを抱

- オーガニックを勧め、牧場から健康と幸せを届

いています。それは、化学肥料をゼロにした頃に、

クな牧場経営を志向していくことになります。



認証書を手に



鈴木牧場看板

▲ 広大な放牧地



▲ 肉牛にも取り組んでいる

#### [経営概況]

属 広尾町農業協同組合(鯖江雅浩代表理事組長) 家族構成 鈴木敏文さん、母 節子さん、妻 なつきさん、 子 聡太ちゃん、啓太ちゃん、陽太ちゃん

搾乳牛 53頭、乾乳牛 8頭、育成牛 52頭、肉牛 8頭 飼養頭数



2022年1月発売予定【無添加】グラスフェッドビ



▲ 鶏卵も認証を取得

乳と同じく手ごたえを感じるし、背中を押され れたのは、 で広尾町では海水を汲み大鍋で沸かす製塩が行 塩も鈴木さんの手によるものです。昭和の頃ま こうじと黒コショウだけを使います。元となる ているようです」と手ごたえを感じています。 品の試作もこの塩こうじを使いました。寄せら たそうです。先立って行った廃用牛での食肉製 まりません。 人でも「鈴木牧場の肉はOK」の感想でした。「牛 して令和3年8月に屠畜し、 オーガニックな牧場経営は、牛乳だけにとど グなどに加工。ハンバーグの味付けには塩 牛肉がダメな人、アレルギ 鈴木さんは家族より伝え聞いてい 令和元年に生まれた雄牛を別飼 ステーキ肉やハン 一のある

取得し生産物販売の為に準備を重ねています。

オーガニック食品の評価は、

価格や成分だけで

乳・牛肉・鶏卵の

JAS オーガニック認証を

これらを具体化するために令和2年には、

生

取組です。 と思います」と鈴木 に向けて注目される ストコロナの さんは語ります。 が重要視されてくる 関係を構築すること お互いの顔が見える る皆さんと生産者が 大いにあると思い 比較ではない価値 これからの時代 本物を求めて 新時 ŧ



#### 全国の若手後継者の皆さんへ 一言!

牛の健康を第一に考えた土づくり・草 づくり・牛づくりに取り組んでいくこと がとても重要なことだと思います。



には、

単なる数字

るオーガニック食品

安心が保証されてい はありません。安全・

### 十勝産オー ガニッ ク食品に拘

に届ける活動には大きな意味がある」と感じたそ

そのために、今年、牛舎+加工場を新設-

オーガニックミルクの販売に乗り出します。

ていただきました。 インパクトがありますよね」と次の目標を教え 入れたい。北海道産オーガニックよりもずっと ク食品のラインナップに鈴木牧場産を是非とも 雰囲気・価値観があります。十勝産オーガニッ 北海道の中でも 「十勝には一つの国のような

# N 部統制)の強化につい

# 内部(自主)監査はなぜ必要なのか

を進めてきたためです。 企業が様々な理由から「内部管理体制 度は聞いたことがあると思います。これは、昨今、国内の 企業に所属している人ならば、「内部統制」という言葉を (内部統制) の強化

ついて具体事例を交えて報告します。 そこで、今回は、「内部管理体制 (内部統制) の強化」に

業務に携わっている方もいらっしゃると思いますので、参考 になれば幸いです。 会員の皆様におかれましては、内部統制の整備や内部監査

# 「内部統制」について

### (1) 「内部統制」とは

仕組み」であるとともに「組織内の全従業員が遵守すべきルール」です。 簡単に言い換えると「規程等の社内ルール」です。 内部統制とは、「企業が健全かつ効率的に事業活動を行うために必要な

> 十分とは言えません。社内で適切に運用されて初めて有効に機能します。 なお、内部統制(規程等の社内ルール)は、整備されているだけでは

## (2) 「内部統制」の普及経緯

り、内部統制が整備され、世界的に普及していきました。 21世紀初頭のアメリカにおいて企業における不正が多発したことによ

に普及・定着しました。 不十分だったこともあり、 また、当時の日本国内の企業や組織においても不正や誤りへの対策が 内部統制は、 国内の企業や組織において急速

# 2 「内部管理体制(内部統制)の強化]にむけて

(1)~4)の具体事例で確認していきます 内部管理体制(内部統制)を強化していく上で、留意すべき事項を下記

(1) なぜ内部管理体制(内部統制)を強化していかなければならないのか?

削減することができます。 が少なくなる傾向があり、さらに管理に要する資源 の効率性向上のため、②不正リスクを低減させるためだと考えます。 ①について、内部管理体制(内部統制)が整っている企業は事務ミス 主な理由は、①あらゆるリスク(事務ミス等)の低減と業務そのもの (時間、 人員等)も

の強化は有効だと考えます。 では完全に防ぐことはできません。しかしながら、「見つかるかもしれな い」と感じさせ犯行を思いとどまらせる上で、内部管理体制 ②について、不正は、管理・監査部門の取り組み (活動) /努力)だけ (内部統制

# (2) 事業所、担当ごとに事務処理のやり方が異なるのはなぜ問題

なのかっ

しなくなる可能性があるためだと考えます。 主な理由は、企業全体として、内部統制 (社内ルール) が有効に機能

例えば、社内の規程は整備されているが、運用方法が部署ごとにバラ

る傾向があります。 バラの場合、組織として、内部統制が有効に機能しているとは言えません。 このような状況が継続することにより、一般的に不正リスクが高くな

# (3) 請求書を一人で作成して検印(作成確認)するのはなぜ問題なのか?

いためだと考えます。 主な理由は、作成者と確認者が同一人であると「牽制機能」が働かな

必要があります。 とは大きな問題であり、不祥事未然防止の観点からも早急に改善を図る なお、内部管理体制 (内部統制) 上 「牽制機能」が有効に働かないこ

# **(4**) だろうか? 印紙、切手などの在庫不一致が頻発することはどのような事態を招く

おいても必ず確認している事項だと思います。 実に確認される事項)となります。このことから、 外部監査において、現金同等物 (金庫回り) の確認は重点確認項目 内 部 (自主)監査に 確

する可能性が高いと考えられます。 加確認等)ことにつながりかねず、組織としての業務負担が大幅に増加 れ、より多くの監査項目をより深くみられる(棚卸資産の現物確認の追 この基本的な管理が出来ていない場合、企業の管理体制に疑念を持た

また、このような管理体制では、当然不正リスクが高くなります。

# 内部管理体制(内部統制)を強化する上で求められること

3

## (1) 職員に求められること

を十分理解する事が特に求められます。 日々の事務(業務)処理の意味合い (何に基づいて行っているのか)

管理職から確認を受けた際、 られるようにする必要があります。 具体的には、自身が担当している業務に関わる規程、要領等を再確認し、 何に基づいて行っているのかを正確に答え

> 継ぎを受けた」等の理由から日々の事務(業務)処理を行っていくことは 内部管理上問題が発生する可能性が高いと考えます。 なお、「前からずっとこのやり方でやっている」、「前任者から口頭で引

## (2) 管理職に求められること

することが特に求められます。 職員が行う事務処理の内容を十分理解した上で管理できる体制を構築

するのはもちろんですが、何に基づいて行っているのかも適宜確認する 必要があると考えます。 具体的には、職員が行う事務処理で疑問な点は随時確認を行うように

### 4

# 内部(自主)検査はなぜ必要なのか

に難しいためです。 をいくら強化しても、自部署にて全ての事項を完璧に管理することは非常 監査は不要とはならないと考えます。 企業が内部管理体制 (内部統制) をどれだけ強化しても、内部 なぜならば、内部管理体制 (内部統制 (自主)

と言えます。 間の体で例えると年に1回の健康診断の意味合い)として実施されている このことから、内部 (自主)監査は、管理体制を補完することを目的 入

### 5 まとめ

で日々の業務に取り組むことによって、組織としての内部管理体制 職員と管理職の双方が、前述の管理体制上求められることを認識した上 (内部

要な問題が見過ごされることを防ぐ上でも適宜実施する必要があります。 また、内部(自主)監査についても、内部管理体制 は着実に強化されていきます。 (内部統制) 重

#### ●牧場見学

㈱尾﨑畜産御浜ファーム 開催日:10月21日休

参加者:三重県酪農女性会議

#### ●畜産女性の会サンカラット出前授業 三重県内高等学校

開催日:10月29日(金)、11月29日(月) 参加者:三重県酪農女性会議



#### ●酪農ふれあい体験交流事業 熊本県内 保育所

開催日:11月10日例

参加者:熊本県酪農青壮年部協議会 他 8名







#### ●出張酪農事業 長崎県内小学校

開催日:12月10日金

参加者:長崎県酪農青年女性会議 他 2名







#### ●小学校出前授業

岡山県内 牧場及び小学校

開催日:10月19日以~11月22日月

参加者:おかやま酪農業協同組合青年部・女性部 他 8名



業に対する







#### ▲ 乳牛の管理をされている瀬野洋右さん

## 地域の紹介

地域とともに歩み親しまれる

ポットで、地元の方々には「あいぼく」 ことのできる観光牧場として人気のス 置しており、様々な動物と触れ合う 戦いが展開された「岩崎城」や、昭 略地点としての役割を果たし、壮絶な の愛称で親しまれています。今回はそ 古屋駅から車で40分ほどの場所に位 が「愛知牧場」です。愛知牧場は名 日進市を楽しむにあたり欠かせないの 市電を見ることのできる「レトロ電車 和49年まで名古屋市内を走っていた 久手の戦の際に、勝敗を左右する戦 じることのできる場所です。 小牧・長 つつも、緑豊かな丘陵地や田園風景が 開発機関が存在する学園都市であり 日進市は、多くの大学や高校、 広がり、四季折々の自然の美しさを感 名古屋市のお隣に位置する愛知県 など見どころは沢山ありますが、



▲ 牛舎外観

### 経営の概況

を見ることができます。また牧場内 どの乗用馬、羊、山羊、兎、モルモッ 育しており、さらにサラブレッドな 種8頭、ブラウンスイス種4頭を飼 が経営している観光牧場です。 はホルスタイン種75頭、ジャージー haもの敷地面積を有する愛知牧場で 愛知牧場は有限会社 愛知兄弟社 孔雀などたくさんの種類の動物 24

させていただきました。

んな魅力にあふれる愛知牧場を取材

には、 できます。 き誇る四季折々の花を楽しむことが 4 hの広大な花畑があり、咲

牧場の歴史

果樹園



▲ 牛舎内の様子

制で管理をしており、フリーストー 乳牛は現在5名の従業員がシフト



▲ 1949年に乳牛を導入

経て、 を2頭導入しました。 た1949年の春、北海道より乳牛 うです。 物を栽培して生計を立てていたそ 態から開墾生活がスタートしまし 戦争終戦直後に入植し、 家が建てられ、 電気などを始め、 1 牧場 946年まで遡ります。太平洋 登山用のテント、 有限会社 入植から5か月後に荒壁の の始まりは今から75年 そして入植から3年が経っ 40アールの畑で作 愛知兄弟社 すべて何もない状 1954年9 掘立小屋を 食料・家 が設 前

が込められており、現在は「地域の うです。キリスト教の「他人を自分 場と名付けました。愛知牧場の由来 愛知牧場の根幹となっています。 のあるものを届けたいという思い 貧しい生活をしていた人々に栄養 のように愛す」という教えと、戦後 は「愛を知る牧場」からきているそ れることを決意し、牧場名を愛知牧 い物を人々・地域に届ける」という 人々に親しまれる、

もちろんですが、全酪連乳製品も取 開始しました。そして1990年に 設備を導入した100頭規模の新牛 観光牧場としての経営が始まりまし 初代モーハウス(売店)を建築し、 1972年に学校給食に牛乳を供給 イボクミルク」の直売がスタートし、 消費者を直結したブランド牛乳 乳製造工場を建設すると、生産者と 舎が完成しました。1969年に牛 には乳牛は50頭に増え、近代的搾乳 入植から20年が経った1966年 現在売店には愛知牧場の製品は

けたことから、今後は酪農に力を入 伊勢湾台風にて果樹園が被害を受 立した時には、 トしていたのですが、 (りんご、 乳牛は6頭に増 愛される」「よ 柿 1959年 もスター 頭





愛知牧場の生乳を使用した低温殺菌牛乳とのむヨ

# 力をいれていること

り扱ってくださっております。

際に愛知牧場で飼育している動物の あいぼくふれんず」を行っていま 愛知牧場では体験イベントとして 「あいぼくふれんず」 とは、 実

場者からは大変人気であるそうです。

のジェラートが販売されており、

ジェラートはミルクジェラートをはじ

季節限定フレーバーなど数種類

りジェラートに使われています。

グルト、

愛知牧場オリジナルの手作

場低温殺菌ノンホモ牛乳、

のむヨー

なっており、

生産した生乳は愛知牧

乳総生産量は年間で900t程度と

基本的に外部からの乳牛の導入は行 ル牛舎にて乳牛を飼育しています。

自家繁殖を行っています。

ような関係を作りたいという思いか 供たちにもっと知ってもらい友達の かを学んでほしいという思いがあり 生産物がどうやって「食」に繋がる かったこともあり、 幼稚園から小学生のお客さんが多 はもともと遠足や社会見学として、 が話題になったことです。愛知牧場 数年前に子供を対象とした職業体験 トを始めるきっかけになったのは 験のイベントです。 体験イベントを「あいぼくふれ そして愛知牧場について子 命の大切さや、 この体験イベン



んず」と命名したそうです。

お世話をする、子供向けのお仕事体

う声が多く、 です。 す。 となっています。 切さを知ることができる「あいぼく 変さや素晴らしさ、そしてお金の大 物の大切さを学びながら、仕事の大 牧場内で利用できるコインがもら を借りずに子供たちだけで行うそう ブラッシングなどの仕事を、親の手 哺乳作業、 務員コース、小動物を世話する飼育 族からも「参加してよかった」とい ふれんず」は、参加した子供のご家 員コースに分かれて仕事を体験しま に交換することができます。食や動 る酪農家コース、 参加する子供たちは牛の世話をす 作業服を着て、 ソフトクリームや乗馬体験など 作業が終わると、給料として 飼育場所の清掃や動物の 大人気の体験イベント 馬の世話をする麼 給餌や子牛への

新たな取り組み

ドのコースを周回し順位を決めるス しています。 季期間にシクロクロスの大会を開催 ています。 ンス発祥の自転車競技で、 知牧場では様々な取り組みが始まっ 年中楽しめる牧場を目指し、 例えば、愛知牧場では冬 シクロクロスとはフラ オフロ 愛



▲ シクロクロス大会の様子

牧場内にシクロクロス用の練習用 の参加者が集まり、また冬季期間は ポーツです。 めに愛知牧場を訪れるかたも増えて コースも作られるらしく、 います。 大会には男女とも多く 練習のた

命の繋がりを学び農

月は菜の花のシーズンということも ども楽しむことができます。 ことができる「雪遊び広場」を始 り」を行っています。天然雪で遊ぶ るイベントとして2月には「雪まつ さらに、 「乗馬」や 子供から大人まで楽しめ 「バーベキュー」 特に2 な

いる愛知牧場

います。 の菜の花も見どころの一つとなって 牧場内の花畑に咲き誇る満開

く予定だそうです。 今後も様々なイベントを企画してい に行っていきたい」という思いから るように、新しい取り組みを積極的 にも牧場に訪問し、楽しんでもらえ 「夏休みや秋の収穫シーズン以外

### あとがき

での体験から、食と く知ることができました。愛知牧場 献していく愛知牧場の取り組みを深 のつながりを大切にし、教育にも貢 ます。取材を通して、地域の方々と さいましたこと、深く御礼申し上げ この度は取材を快く引き受けて下

を超えて親しまれ ことでしょう。 れた子供たちが、 業を身近に感じてく ていただきます。 の未来を担っていく れからの日本の農業 今後とも誠 0) 取り 世代



心誠意サポー

https://aiboku.com

### 支所発

#### **仙 台** 「第42回 牛乳・乳製品利用料理コンクール 福島県大会」 開催

10月21日休、福島県酪農業協同組合(紺野宏代 表理事組合長)が事務局を務める福島県牛乳普及協会 は、福島市の財福島県学校給食会において、第42回 牛乳・乳製品利用料理コンクール福島県大会を開催し ました。680作品の応募の中から書類審査で選ばれ た6人の方が料理の腕を振るいました。出場者の皆さ

んは、少し緊張しながらも一生懸命に料理を作ってい ました。

途中、アクシデントもありましたが、とても素敵 な作品が出来上がりました。12月には、料理コンクー ルの作品を載せた「レシピ集」が完成するとのことで、 楽しみなところです。 (Y.M)



#### 最優秀賞

大八木 心美 さん 耶麻農業高等学校

「耶麻高産そば尽くし! チーズ入り鶏そば団子と そばの実たっぷりミルクスープ



#### 優秀賞

三瓶 莉奈さん 郡山女子大学付属高等学校

「油揚げで簡単! なんちゃってクリームコロッケー



#### 審查員特別賞(優良賞)

菊地 風優香さん 国際ビューティー&フード大学校

「白玉チーズロールサンド」

#### 仙台 支所発

#### 「山形県酪農業協同組合全体研修会」が 盛大に開催される!

12月6日 (月)、山形県南陽市宮内の東北の伊勢と呼 ばれる熊野大社「證誠殿」において、山形県酪農業協 同組合(山口長一代表理事組合長)の全体研修会が盛 大に開催されました。コロナ禍で実出席の全体研修会 開催は2年ぶりとのことですが、当日会場には約70 名の組合員・関係者の方が出席されました。

今回の全体研修会は講演 会がメインで、講師には道 東あさひ農業協同組合の組 合員株式会社 mosir 代表取 締役の小林晴香さんを招き 開催されました。開会に当 たって山口組合長より、生 乳需給の大幅緩和、飼料の



▲ 挨拶をされる山口組合長

高騰、特に輸入粗飼料の高騰と不足傾向など厳しい酪 農情勢の中で、一丸となって乗り越えるよう挨拶があ りました。続いて講師の小林さんに同道されました道 東あさひ農協営農部経営対策課の本田慎主査より、組 合の地域である別海町・根室市の紹介、酪農専業地域 としての道東あさひ農協の事業や将来計画などの説明 がありました。

続いて「私らしい酪農」と題して小林晴香さんの講



▲ 講師の小林晴香さん

演がありました。小林さんは 2002年に短大を卒業後介護 施設に勤務。2008年に別海 町に戻り後継者として就農。 2014年には繋ぎ牛舎の改 築。2017年畜産クラスター 事業を利用しロボット搾乳生 舎を新築。この間転機となる事が3度あったそうですが、 その都度自分なりに考えをまとめ前述のように牛舎を新 築するなど新たな事に取り組まれました。2020年4月 (株) mosir の代表取締役に就任され、80 歳まで現役!!後 悔しない!! 私らしい酪農を!! 目指して活躍されています。

講演終了後は、会場を移してお弁当を食べながら 小林晴香さんを囲んで山形県酪農協女性部・女性職員 との懇談会が開催され、女性経営者としての考え方や 苦労、今後の課題などの情報が共有されました。

今回の全体研修会は、コロナ禍での酪農生産環境 の改善と若手酪農家が希望を持てる産業としての位置 づけを目的として開催されましたが、小林晴香さんの 講演は刺激的で参考になる話であったと思われます。 これを機会に新たな取り組みにチャレンジする若手酪 農家の方が出てくることが期待されます。

また、今回の研修会参加者全員に、バター 200 g 30 個入り 1 ケースとヤマラクヨーグルトや国産ゴー ダチーズなどの乳製品セットが進呈されました。生 乳需給緩和とバター・脱脂粉乳の在庫増大といった 厳しい酪農環境において、乳製品過剰在庫解消の一 助になればと山形県酪農協が企画されました。「組合 員の方には自ら消費・利用拡大するとともに、地域 での働きかけにも利用してほしい。」と呼びかけてお られました。

例年ですと研修会参加者全員で昼食を兼ねて懇親 会となるようですが、大勢での会食は時期尚早との判 断から、お弁当が配布されて解散となりました。参加 された方には短い時間ではありましたが、大変有意義 な研修会になったことと思われます。 (I,Y)



▲ バターと乳製品セット進呈



### 大阪支所発

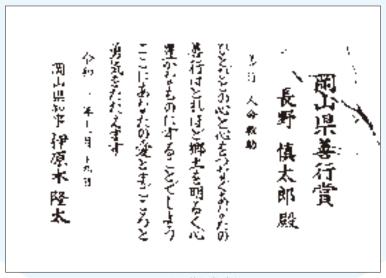
### 本会の長野職員、中央牧場と連携し女性を救出、岡山県善行賞を受賞

去る令和3年10月22日金、本会大阪支所購買 畜産課の長野職員が、おかやま酪農協所属の有限会社 中央牧場(水島社長、岡山県美咲町でブランド牛の米 が作り、2,850頭を肥育)訪問後の帰り道の途中にある 側溝で落ちて動けなくなっている高齢の女性を発見。 直ちに救出し、家が近くということで家まで送って行 きました。そこに、中央牧場従業員の鑓屋さんが通り かかり長野職員の車を発見、何故ここに車を止めてい るのか不思議に思い合流し、長野職員から一連の説明 を受け、中央牧場の水島社長から地元の民生委員へ連 絡していただいたとのことです。女性は民生委員と女性の娘さんとともに病院に行き、検査の結果、肩と肋骨にひびが入っておりそのまま入院となりました。

このことで、12月10日金美咲町役場において中央牧場の水島社長、鑓屋さん、そして長野職員は、岡山県伊原木知事より、「ひとびとの心と心をつなぐあなたの善行はどれほど郷土を明るく心豊かなものにすることでしょう。ここにあなたの愛とまごころと勇気をたたえます」とした「岡山県善行賞」を受賞されました。 (K.I)



▲ 写真中央が水島社長、左から2番目が鑓屋さん、右から3番目が長野職員



▲ 岡山県善行賞 賞状

#### 福 **运**所発

#### 「自由民主党九州酪政会総会」が 開催される(九州酪農政治連盟協議会)

第49回衆議院総選挙も終わり、間もなく令和4年度畜産物価格・関連対策決定に向けた議論がスタートする11月26日 金に自民党九州選出議員で構成する九州酪政会(衛藤征士郎会長大分2区)が自民党本部(東京都)にて総会を開催しました。

当日は多数の出席議員に加え、福岡支所が事務局 を務める九州略農政治連盟協議会(宮本貞治郎会長 長崎県)の役員も総会に参加し、意見交換を実施するとともに宮本会長より「乳製品在庫解消に関する要請」を行い乳製品在庫解消に対する積極的な国の支援を訴えました。また、今回の要請活動では宮本会長より電話で岸田文雄首相に在庫解消対策への支援をお願いする機会を得ることができ有意義な酪政連活動となりました。 (T.S)



▲ 正面左より坂本哲志議員(熊本3区)、衛藤征士郎議員 森山裕議員(鹿児島4区)、江藤拓議員(宮崎2区)



▲ 要請を行う宮本会長

#### 

#### 「鹿児島県酪農新規就農者支援協議会」設立総会が 開催される

12月20日(月)、鹿児島県酪農業協同組合(轟木孝一代表理事組合長)において、鹿児島県酪農新規就農者支援協議会の設立総会が開催されました。

鹿児島県下で新規就農希望者を支援することで円滑な酪農経営をスタートさせるため、鹿児島県酪農協を中心に鹿児島県畜産課・全酪連福岡支所(鈴木支所長)を構成員とした協議会の設立が承認されました。轟木

組合長・鈴木支所長の挨拶に続き、協議会の会長に轟木組合長が、副会長に鈴木支所長が選任されました。

今後、新規就農に関する検討会を開催し、デーリィサポートかごしま(酪農ヘルパー利用組合)や(一社)全酪アカデミーなどの関係機関と連携して人材発掘、離農農家や空牛舎の情報提供・共有、マッチング、技能支援などに取組む計画であります。 (T.S)

#### 鹿児島県酪農新規就農者支援協議会 設立総会



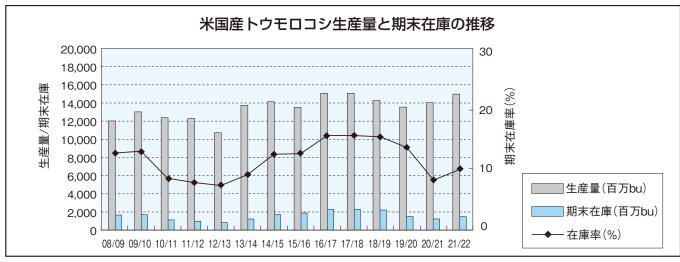
▲ 議長を務める轟木組合長



▲ (一社)全酪アカデミーとの連携により一人でも多くの就農を (鈴木支所長)



		20/21年産	21/22年産			
	作付面積(百万エーカー)	90.7	93.3			
12月9日発表	単 収(ブッシェル/エーカー)	171.4 177.0				
米国農務省   トウモロコシ	生 産 量 (ブッシェル)	141億1,100万	150億6,200万			
需給予想	需 要 量 (ブッシェル)	148億1,900万	148億3,000万			
	期末在庫 (ブッシェル)	12億3,600万	14億9,300万			
	在 庫 率	8.34%	10.07%			
トウモロコシ相場動向	南米での作付進捗は順調だったが、今年もラニーニャの関係でブラジル及びアルゼンチンでドライな気候が続いており、生産 量減少の懸念が出ていることからシカゴトウモロコシ相場は底堅く推移している。今後のシカゴ相場は天候リスクと輸出市場 における中国勢の本格参入に注意する必要がある。					
大豆粕相場動向	米国産大豆のシカゴ相場は中国向け輸出が好調なため底堅く推移しており、為替が円安の影響で原料大豆価格は堅調に推移しているため、国内搾油メーカーの採算は引続き悪化している。そのため、国産大豆粕相場は堅調に推移している。輸入大豆粕現地価格も底堅く推移しており、為替が円安の影響で相場は堅調に推移している。					
糟糠類	【一般フスマ】 小麦粉の値上げに伴う先取り需要等により、年末に向けた供給は緩和傾向にあり前期比据置きの価格改定となった。年始からの挽砕量の動向や、逼迫しているその他の糟糠類からの置換え需要等、引続き出荷制限はかかる見通しとなっている。					
	【グルテンフィード】 国産は需要期のスターチ生産が振るわないなか不需要期を迎え、国産グルテンフィードは非常に逼迫している。中国産は発生の減少や海上運賃の高止まりにより価格は急騰しており、輸入在庫は低調に推移しており、国産、輸入ともに供給が困難な状況となっている。					
海上運賃	海上運賃は中国向けのガルフ出し大豆の引き合いが活発化したことで、11月後半~12月頭に掛けて相場は反発している。また、コロナ禍の巣ごもり需要からコンテナ船が高騰しており、バルク船にも需要が向いていることから今後は堅調に推移する見込み。					







#### 輸入粗飼料の情勢 冷和3年12月

北米コンテナ船情勢	全米最大のコンテナ取扱数量を誇るロサンゼルス港及びロングビーチ港では引き続き80隻超のコンテナ本船が沖合に滞船しています。船社によっては滞船を避けスケジュール調整を図るため、定期便を減便しており、船腹予約のキャンセルが増加し船腹予約が難しくなっています。本船の出航も遅れていることから1か月以上のスケジュールの遅延が恒常化しています。日本向けにアルファルファ、チモシーが多く輸出されているPNW航路でも遅れが目立ち始めています。通常PNWのコンテナ船は米国のシアトル・タコマ港を出港しカナダのバンクーバー港を経て本邦に入船しますが、冬場の高波と強風の影響でバンクーバー港においてターミナルが閉鎖する日が増えている上、荷役効率が低下しているためバンクーバー港か合でもコンテナ船の滞船が増えています。この結果、バンクーバー沖合到着から接岸まで2週間程度時間を要しており、PNW航路でも大きな遅延が発生しています。またカナダでは11月中旬にブリティッシュコロンビア州を直撃した豪雨の影響で土砂崩れが発生し、貨車によるバンクーバー港への物流が一時寸断されました。3週間程度の復旧作業を経て、12月上旬より徐々に貨車の運航が再開されていますが、正常に戻るには時間を要す見込みでカナダ産粗飼料のスケジュール遅延に拍車をかけています。					
ビートパルプ	【米国産】 21-22年産米国産ビートの収穫は終了しました。主産地である中西部では、作付面積が昨年比で減少したものの、生育期の天候に恵まれ例年以上の単収となりました。来春まで製糖作業が続きますが、単収の増加に加え歩留まりも良好で、ビートパルブの生産量は昨年を上回る事が見込まれております。					
中国向け アルファルファ について	12月7日に米国農務省から発表となった10月の輸出統計によると、米 国産アルファルファの中国への輸出数量は21年1-10月までに132万t (日本は49万t) となっており、12月を待たずに過去最大の輸出量に到達しています。好調な乳価を背景に数量が伸長しており、このペースで推移すると21年は170万t前後になることが予想されており、現在も米国内需とともにアルファルファ相場を牽引しています。					
	【ワシントン州】 主産地であるコロンビアベースンでは21年産の収穫が終了しています。21年産の作況としては、1番刈は収穫期に局地的な降雨があったものの、雨当たり被害は軽微なものとなり高成分な上級品が多く発生しました。一方で、穀物相場高騰により穀物の代替としてアルファルファに対する米国内需からの引き合いが強く、1番刈の上級品の多くが内需向けに成約されました。2番刈は収穫期の猛暑の影響で過乾燥気味な品質が多く、中級品中心の発生となりました。3番刈は山火事により、日光が煙に遮られ、乾燥作業に時間を要したため週乾燥気味かつ色目の悪い品質の発生が多くなりました。4番刈は収穫期の断続的な降雨の影響で多くの雨当たり品が発生しています。産地相場については、西海岸全域を襲った旱魃の影響から自給飼料が不足する近隣州の酪農家及び肥育農家と、乳価の好調な中国による旺盛な需要により上級品から下級品まで相場は昨年比で大幅に上昇し現在も堅調に推移している状況です。					
アルファルファ	【オレゴン州】 オレゴン州南部クラマスフォールズでは21年産の収穫が終了しました。21年産は産地を襲った旱魃の影響で農業用水の使用が制限されたため、生産量は例年の70%程度となっています。品質については収穫時に天候に恵まれたこともあり、上級品が多く発生しています。同州中部クリスマスバレーでも21年産の収穫が終了しています。産地では全番手を通じ収穫期に降雨に見舞われ、雨当たり品が多く発生していますが、西海岸全域で自給飼料が不足していることから、このような雨当たり品であっても国内向けに高値で売買されています。					
	【ユタ州】 ユタ州では旱魃による水不足の影響で、農業用水使用に制限が設けられ、生産量は例年に比べ大幅に減少しています。10月12日に米国農務省から発表となった報告書によると、21年産ユタ州でのアルファルファの生産量は181万tになると見込まれており、この数字は1989年の174万tに次ぐ低水準の生産量となり、過去30年で一番低い生産量となります。					
チモシー	【米国産】 主産地であるワシントン州及びアイダホ州では21年産の収穫が終了しています。21年産1番刈の作付面積は例年並みでしたが、非灌漑でチモシーを栽培するアイダホ州は早魃の影響で単収が例年に大幅に減少し、生産量は例年の60%程度となっています。品質面は収穫期に晴天が続き、上級品中心の発生となった一方で、下級品の発生量が極端に少なくなったため、下級品を中心に産地相場は上昇しました。ワシントン州コロンビアベースンでは穀物相場が堅調なことを背景に、1番刈収穫後、換金性の高い穀物への転作が増え2番刈の発生量は昨年比で20-30%程度減少しています。作況は収穫期にあった山火事の影響で日光が煙で遮られ、乾燥作業に通常よりも時間を要したことから、色抜け品やくすんだ色目の品質が多く中級品の発生が中心となりました。					
	【カナダ産】 主産地であるアルバータ州南部レスブリッジ地区、中部クレモナ地区ともに21年産の収穫が終了しています。レスブリッジ地区の2番刈は収穫前の強風により一部で倒伏した圃場も発生しましたが、作況としては例年並みとなっています。21年産は早魃の影響で生産量は減少しており、自給飼料の不足する内需および輸出向けの引き合いは強く、産地相場は堅調に推移しています。特に内需の引き合いが例年以上に強いことから、生産者によっては輸出向けのスクエアベールでのベーリングを選択せず内需向けのラウンドベールで生産しており、輸出向けの数量確保が例年以上に難しくなっています。					
スーダングラス	主産地であるインペリアルバレーでは21年産の収穫が終了しています。21年産は例年上級品の発生が多い、早播き品の作付面積(5月15日時点)が過去5年間で一番少ない32,390エーカー(前年:37,275エーカー)となったことから、上級品の生産不足を懸念した輸出業者が収穫と同時に旺盛に買付を行った結果、産地価格が上昇しました。収穫期終盤となる8月頃から西海岸全域で早魃由来の自給飼料不足が顕著となったことから、例年以上にスーダンに対する需要が強くなりました。加えて8月から9月に産地で断続的な降雨があり、雨当たり品が多く発生したことで、輸出向けの品質が供給不足となり相場は一段と上昇しました。このため輸出業者によっては、日本の需要を賄うスーダンを確保できず日本の顧客に対し出荷制限を設ける動きも見られています。					
クレイングラス	クレインは全略連の登録商標です。 主産地であるインペリアルバレーでは21年産の収穫が終了しました。21年産は4月から収穫が開始されました。8月に断続的な降雨があったものの、年間を通じた作況は平年作となっており、色目の鮮やかな柔らかい品質のクレイングラスが多く生産されました。産地相場は他の草種に比べ安定的に推移していましたが、9月以降、自給飼料不足に直面する内需とスーダンの低級品やストロー類の逼迫感から輸出向けの需要が強まり、産地相場が徐々に上昇しています。					
ストロー類	ペレニアル種、アニュアル種のライグラスストロー及びフェスキューストローは、日本、韓国からの引き合いは強いものの、出港先であるポート ランド港発での船腹キャンセルや空コンテナ不足が顕著で、各輸出業者は需要に応えられるだけの出荷ができていない状況です。					
	【豪州産】 9月より始まった21年産の収穫は東豪州の一部を残し21年産の収穫作業は概ね終了しています。長雨の影響で作況は芳しくないものの、北米産グラスへイの不足分を補うために日本、韓国、台湾から例年以上に強い引き合いが豪州産オーツへイに寄せられています。					
	【西豪州産】 上級品の発生は先行して収穫された北部や内陸部の一部のみとなっており、中級品から低級品中心の発生となっています。収穫時期後半に刈取をされたものは、複数回の雨当たり被害を受けており、輸出向けに出荷できない品質のため、これらは国内向けに販売される見込みです。					
オーツヘイ	【南豪州産】 初期に収穫された圃場では降雨被害があったものの、11月中旬から下旬にかけて天候が回復したため、一部で上級品が発生しています。					
	【東豪州産】 地域によって作況が異なり、一部の地域で上級品が収穫されたものの、多くの地域では断続的な降雨の影響で低級品が多く発生しています。低級品の多くは西豪州同様、輸出向きの品質でないため、国内向けに販売されており、輸出業者は上級品だけでなく低級品も十分に調達できていない状況です。					
豪州海運情勢 について	引き続き船腹及び空コンテナ不足に直面しています。各船社は東豪州発日本向けの直行便の運航を一時停止しているため、これまでスケジュールの安定性が見込めた東豪州発の航路についても西豪州、南豪州同様、東南アジアや中国及び韓国を経由しています。これらの経由地でも港湾及びフィーダー船の混雑は深刻で、豪州から出港したコンテナが経中地で1-2か月程度滞留するケースキ恒学化しており、入船スケジュールが大幅に遅延しています。					

の混雑は深刻で、豪州から出港したコンテナが経由地で1-2か月程度滞留するケースも恒常化しており、入船スケジュールが大幅に遅延しています。

### 酪政連活動報告

日本酪農 政治連盟

令和3年10月~11月

10/18	九州酪政連協議会 各県会長・委員長会議に出席 (委員長・事務局)
10/19	第 49 回衆議院総選挙 推薦候補者陣中見舞い (正副委員長・事務局)
10/31	第 49 回衆議院総選挙投開票 本連盟推薦議員 156 名中 146 名が当選
11/4	推薦候補者当選祝い(正副委員長・事務局)
11/11	北海道酪農協会 要請活動に同行 (農水省・衆参議員会館)
	++=> W=+=+

農林・食料戦略調査会、農林部会、農政 推進協議会合同会議において、佐藤委員長 より令和4年度税制改正について要請を 行う。

(於 自由民主党本部)

11/16

#### 要請内容

- ・軽油取引税の課税免税措置の恒久化
- ・ 集送乳ローリーに対する軽油免税措置
- ・農家所有トラックの軽減措置の創設等

自由民主党酪政会総会・中央委員会

(於 参議院議員会館)

酪政会総会は約50名の国会議員が出席。

佐藤委員長より令和 4 年度畜産物価格及び関連対策、乳製品在庫解消に関する要請を行い、 その後、意見交換を行った。

11/25



▲ 自民党酪政会 森会長挨拶



▲ 要請を行う佐藤委員長

中央委員会においては、出席委員より、畜産クラスター要件緩和、酪農ヘルパー確保対策の拡充、牛乳消費拡大推進等を求める意見が出された。

11/26

自由民主党九州酪政会総会に出席(於 自由民主党本部・事務局)

#### **INFORMATION**



札 幌 支 所 TEL 011-241-0765 釧路事務所 TEL 0154-52-1232 根室駐在員事務所 TEL 01537-6-1877 带広事務所 TEL 0155-37-6051 道北事務所 TEL 01654-2-2368

価格状況 ★……強含み 承……やや強含み ★……横這い ★……やや弱含み ↓……弱含み

事	務	所	홑	<b>1</b>	锺	相場(万円)	価格状況	管 内 状 況	
札幌管内		育成牛	(10-1	2月令)	28~38	<b>→</b>	札幌管内の12月中旬までの生乳生産量前年比は、函館管内月計で102.2%、累計で98.7%、苫小牧管内月計で99.3%、累計で98.9%の実績となっております。1月の初妊牛動向といたしまして、3月~4月上旬分娩が中心となります。12月の同地域乳牛市場は、引き合いが強くやや強含みの相場展開をみせました。1月についても春分娩が多くなるため、やや強含みの相場になると予想されます。出回り頭数は少ない地域ではありますが、優良牛や高能力牛の多い地域でもありますので、ご希望がございましたらお問合せください。		
	内	初	妊	牛	56~66				
		経	産	牛	35~45	•			
釧路管内		育成牛(10-12月令)		28~38	•	根釧管内の12月中旬までの生乳生産量前年比は、釧路管内月計で103.9%、累計で102.2%、中標津 管内月計で106.8%、累計で104.5%の実績となっております。1月の初妊牛動向といたしまして、			
	内	初	妊	牛	57~67		3月分娩が中心となります。12月の管内乳牛市場は横這いで推移しましたが、中クラス以上の初妊牛はやや強含みとなっていたため、1月の庭先購買価格も同様にやや強含みとなるものと思われま		
		経	産	牛	37~42	*	す。これまでは引き合いの弱かった雌雄選別腹も引き合いがあり、F1腹と同様やや相場を戻すのと思われます。初妊牛の動きと合わせ、経産牛もやや強含みとなるものと予想されます。		
帯広管内		育成牛(10-12月令)		32~42	<b>7</b>	帯広管内の12月中旬までの生乳生産量前年比は、帯広管内月計で105.4%、累計で104.5%の実績となっております。1月の初妊牛動向といたしまして、3月~4月上旬分娩中心となります。12			
	内	初	妊	牛	58~68	<b>7</b>	月の同地域乳牛市場は、やや強含みの相場展開を見せました。1月についても需要がある春分娩の牛が上場し、やや強含みの相場になると予測されます。資源状況としましては豊富であり、雌雄選別腹・F1腹ともに十分に確保できるものと思われます。育成牛についても、初妊牛相場に連動してやや強含みを見込んでおります。		
		経	産	牛	35~45	•			
道北管内		育成牛(10-12月令)		26~36	•	道北管内の12月中旬までの生乳生産量前年比は、稚内管内月計で103.0%、累計で100.2%、北見管内では月計で104.7%、累計で103.2%の実績となっております。1月の初妊牛動向といたしまして、3月~			
	内	初	妊	牛	55~65	<b>7</b>	4月上旬分娩が中心となります。昨年同時期より導入意欲は弱まると思われますが、春分娩需要は一定数あるため、相場はやや強含みで推移すると予想されます。雌雄選別腹とF1腹の価格差はあまりない状況		
		経	産	牛	35~45	•	になると思われます。経産牛について、出回り頭数は少なく、道内の引き合いは堅調なため、横這いで推移 すると思われます。育成牛も需要が落ち着いていることもあり、相場は横這いで動くと思われます。		
道内総括		育成牛(10-12月令)		28~38	•	新年あけましておめでとうございます。札幌支所職員―丸となり納得頂ける搾乳用素牛を供給して参りますので本年もどでしております。道内の12月中旬までの生乳生産量前年比は104.7%、累計で103.0%の実績となっております。1月			
	括	初	妊	牛	58~68	<b>7</b>	初好牛動向といたしまして、3月~4月分娩中心となります。道内・都府県ともに購買意欲は弱くなっているものの、12月 地域の相場展開、春分娩の需要を見込むとやや強含みで推移すると予想されます。道内の資源については、引き続き潤沢では、		
		経	産	牛	35~45	•	が、		

#### お詫びと訂正

本紙 12 月号 (No.675) 20 ページに掲載しました原料情勢 大豆粕相場動向に誤りがありました。謹んでお詫び申し上げますとともに、訂正いたします。 トウモロコシ情勢〜米国での収穫および南米での作付けは例年より早いペースで進んでおり、シカゴ相場は本来下がるはずではあるが、原油高 に伴いエタノール需要が増えていることから底堅く推移している。

<正> シカゴ大豆相場は順調な作付けと、ブラジル産大豆の豊作見込みから緩やかに下落しているものの、国内搾油は食用油値上げの影響や外食需要の 回復状況を見据えた様子見となっている。中国産大豆粕は発生が減少傾向にあることや、海上運賃の高止まりにより相場は底堅く推移しており、 国産大豆粕も強気の相場となっている。



今月の表紙は 「第11回酪農い きいきフォトコ ンテスト」に応 募いただいた作 品「元気に産ま れたよ!」(福島 県 福田千鶴氏 撮影)です。

令和4年1月10日発行(毎月1回10日発行)

全酪連会報 1月号 No.676

- ■編集·発行人 工藤文彦
- ●発行 全国酪農業協同組合連合会

〒151-0053 東京都渋谷区代々木一丁目37番2号 酪農会館 TEL 03-5931-8003 http://www.zenrakuren.or.jp/

●あけましておめでとうございます。

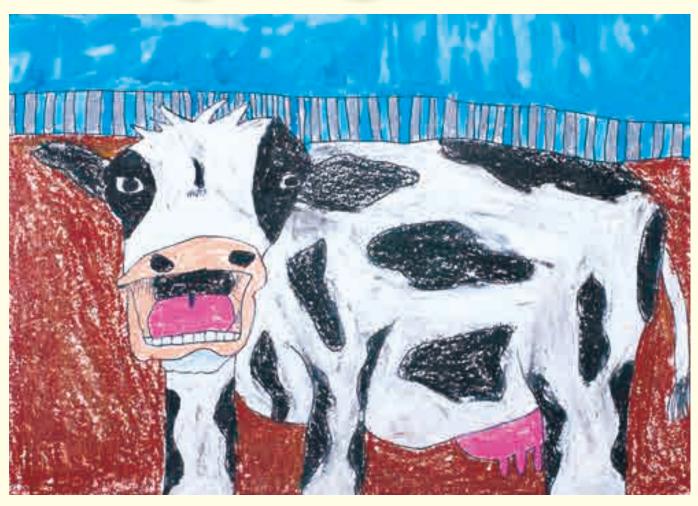
皆様には、晴れやかに新春を迎えられたことと、お慶び申し上げます。 国内の新型コロナウイルスの感染者数は諸外国に比べ低い推移を保っ てはおりますが、新たな変異株「オミクロン」の出現により、まだまだ予断 を許さない状況です。牛乳乳製品の需要回復につきましても厳しい状況 が続いておりますが、酪農業界を取り巻く課題が解決し、輝かしい一年 を過ごせることを祈願するとともに、2021年に引き続き、皆様にご愛読 いただける内容で全酪連会報をお届けできるよう努めてまいります。

本年もよろしくお願いいたします。

●会報に関するご意見・ご要望等があれば、以下のアドレスにメール をいただければ幸いです。

shidoukikaku@zenrakuren.or.jp

# 今月のらううとギャラリー入賞作品紹介



子どもをうみそうな牛

那須塩原市青木小学校 4年(関甲信) 鍬守 倖吉

#### 今月の入賞作品は…

#### 那須塩原市青木小学校 4年 (関甲信) の鍬守倖吉さんの作品です。

大きく口を開けてこちらを見つめる牛さんの表情がとても印象に残る作品です。「子どもをうみそうな牛」というタイトルから、牛さんの表情には緊張感があふれ、今にもモーーウォッ!といった鳴き声が聞こえてきそうです。 画面はクレヨンや水彩絵の具を使って隅々まで描きこまれ、張りつめた状況が力強く表現されています。

